

No.49

令和6(2024)年5月1日発行

主な内容

皆さんの声を議会へ
(代表質問等)……………2～5

予算審査特別委員会
審査報告……………6～8

主な議決結果……………9

気軽に！手軽に！ネット中継！！
傍聴してみませんか……………10

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！

マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



令和6年度の一般会計予算211億6千2百万円

子育て、学校教育、医療、介護、ヒグマ対策への
施策を中心に、幅広い年代の市民需要に対応！！

第1回市議会定例会が2月29日から3月18日までの19日間の会期で開かれ、前田市長から「市政執行方針及び予算大綱」、田中教育長から「教育行政執行方針」の説明がそれぞれ行われました。

令和6年度一般会計予算など市長提出議案27件が原案どおりに可決されたほか、市政について6人の議員による代表質問等が行われました。



令和6年度の主な事業と予算

児童手当拡充事業(新規) 4,974万円
小・中学校空調設備設置等工事
(新規) 6億131万円
乳がん検診無料クーポン配布事業
(新規) 52万円
介護職員の資格取得費用支援事業
(新規) 88万円
ヒグマ対策事業(拡大) 151万円

一般会計・特別会計		予算額	対前 年比
一般会計		211億6200万円	-3.0%
特別会計	国民健康保険特別会計	44億2222万円	0.1%
	公営住宅事業特別会計	8億3872万円	37.3%
	介護保険特別会計	37億995万円	-4.2%
	後期高齢者医療特別会計	7億9444万円	10.2%
計		309億2733万円	-1.7%

企業会計		予算額	対前 年比
下水道事業	収入計	17億8411万円	-0.7%
	支出計	22億3814万円	-1.8%
病院事業	収入計	77億3815万円	-8.8%
	支出計	85億2376万円	-4.2%



皆さんの声を議会へ

当市議会では、市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問において、個人質問と代表質問が認められています。代表質問は会派代表者が市政執行方針等に対して行うもので、改選年を除いて3月定例会において行われています。住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は会派代表者が45分以内、無所属議員は15分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、6名の議員が質問しました。

質問者	全質問項目
荒木 文一 (市民ネットワーク)	大規模災害対策 エネルギー価格及び物価高騰対策 滝川駅周辺整備 市内バス路線の運行継続 第3期滝川市子ども・子育て支援事業計画 不妊治療支援事業 保育所における保育環境の向上 国学院大学北海道短期大学部の学生確保 滝川第一小学校の改築 滝川市B&G海洋センター 滝川市立病院 鳥獣被害対策 農業の第三者経営継承 Letara(株)への支援 空家等対策 ふるさと納税
安楽 良幸 (新政会)	令和6年度における市政運営 滝川駅周辺整備 企業誘致 児童館・放課後児童クラブなどの運営見直し 学校給食費の支援 国際交流事業の推進 市立病院における広域医療連携のさらなる推進 介護人材の確保 ヒグマ対策 滝川ふれ愛の里の管理運営 観光振興 Letara(株)への支援 空家等対策 ふるさと納税 コミュニティ・スクール 部活動の地域移行
三上 裕久 (公明党)	滝川駅周辺整備 公共交通の維持・確保 市政運営における財源確保 (仮称)滝川市子ども計画の策定 介護職員の支援 带状疱疹予防ワクチン ヒグマ対策 観光情報のPR 滝川ふれ愛の里の管理運営 除雪環境の整備 DX推進 いじめ防止 不登校児童生徒・保護者への支援
高橋江海子 (れいわ新選組)	災害への適切な備え 多様性を認め、誰もが個性を生かし活躍できるまちづくり 不登校支援 情報モラル教育の推進
柴田 文男 (21フォーラム)	本年の一字「敏」について 滝川駅周辺整備 市内バス路線の運行継続
寄谷 猛男 (日本共産党)	公共施設個別施設計画前期計画の見直し 児童館・放課後児童クラブなどの運営見直し 子ども医療費無償化及び学校給食の公費負担 高齢者福祉 防災 地域農業の支援 国民健康保険の税率改定 「AI(人工知能)ドリル」の導入 学校図書館の充実

第1回定例会 代表質問から

改築について 滝川第一小学校の



荒木 文一
市民ネットワーク

問 滝川第一小学校の改築というのはいわゆる建替えとの認識でよろしいのかを伺う。また「公共施設個別施設計画前期計画の見直し」により、令和11年度の開校予定が2年後に先延ばしとなっているが、必ず担保されるのかを伺う。

答弁 施設の老朽化が課題となっている滝川第一小学校については、令和6年度から現敷地内での建替えに向けた検討に着手し、必要な調整事項が整えば可能な限り早く実施したいと考えています。

問 駅周辺整備の基本計画策定に関して市民意見の聴取について触れられているが、パブリックコメントは高齢者を含め意見聴取が難しいという問題がある。他の手法等で実施する考えがあるかについて伺う。

答弁 より効果的な手法を取り入れながら策定作業を進めていきたいと考えていますので、アイデアがございましたら是非ともご意見をお寄せいただきたいと思います。

非ともご意見をお寄せいただきたいと思いますと考えています。

問 医師の働き方改革をはじめ、病院経営上のかじ取りが大変難しくなることが予想される滝川市立病院について、病床数の見直し等、今後何らかの変更が生じる見込みなのかを伺う。

答弁 医師の働き方改革が施行され勤務医を取り巻く環境が大きく変化してきています。医育大学では、医師個人の総労働時間を管理する必要性があり、医師派遣に影響する可能性があります。

現段階では内科医不足により診療時間を縮小、制限せざるを得ない状況であり、市民の皆様には大変ご不便をおかけしますが、新年度は医師の招へいにより一層力を注ぎ、現在の病床数を含めた診療体制の維持に努めていきたいと考えています。

ついて 滝川駅周辺整備事業に



安楽 良幸
新政会

問 長年の懸念事項であった本市の玄関口である滝川駅周辺整備については、市民の皆さんや各団体の意見を聞きながら基本計画の策定に移行していくと考えるが、駅前の賑わいあふれる空間には何が必要かをしっかり精査し、将来の財政状況を見据え、身の丈に合った施設をスピード感を持って建設すべきだと思うが、市長の考えを伺う。

答弁 滝川駅周辺整備事業については、将来の持続可能なまちづくりに向けた基盤整備の一つでもあり、重要な政策かつ投資的事業と考えています。「まちの顔」としてどのような駅前であるべきか、必要な機能や規模など、市民の皆さんのご意見や民間事業者のノウハウをいただきながら、将来世代に過大な負担とならない「身の丈」にあった整備となるようスピード感を持ってしっかりと進めていきます。

問 本市では、子育て世帯の経済的支援を図るため、学校給食に係る食材費上昇分について公費負担しているが、先の見えない物価上昇に鑑み、将来的には食材費上昇分とは別に1割でも、2割でも公費負担を増額して、子育て世帯の負担を軽減すべきだと思うが、市長の見解を伺う。

答弁 学校給食費の公費負担については、必要性の認識は変わっていませんし、子育て世帯の負担軽減のためにも何らかの支援を行いたいと考えています。

令和6年度も給食費に係る食材費上昇分を公費負担する予算案を提案したところですが、将来的な公費負担の増額については、財源の捻出や子育て支援施策全体のバランスなどを総合的に勘案しつつ、少しでも保護者の負担軽減となる方法を考えていきます。

第1回定例会 代表質問から

再生整備について 滝川駅周辺地区の



三上 裕久
公明党

問 滝川駅周辺地区再生拠点整備基本計画の策定過程において、柔軟に市民の意見を取り入れ、必要な修正や変更を可能とすべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁 施設配置や機能、規模などについて幅広く市民の皆さんや民間事業者のご意見をいただきながら検討します。また、将来の財政状況に与える影響や様々な社会情勢の変化に対応した修正や変更を加えながら「身の丈」にあった整備内容に定めていきます。

問 滝川駅周辺地区再生拠点整備基本計画の策定過程において、市の一般会計、特別会計、企業会計の全体の起債償還、人口減による市税の減収、ふるさと納税の寄付額の減少等を鑑み、将来財政運営が立ち行かないと判断した場合の市長の判断を伺う。

答弁 基本計画の策定過程において、将

来的に財政運営が立ち行かなくなるような計画の策定は想定しておりませんが、将来的に財政状況の悪化が予見された際には、駅周辺整備事業の緊急停止も含め、市民生活に影響を及ぼさないよう、財政基盤の安全性を確保していかなければならないと考えています。

問 現在の市内線バス運行事業者による運行は、令和6年度末をもって終了するが、令和7年度以降の運行事業者の選定が不調に終わった場合の対策について伺う。

答弁 5月に予定している滝川市地域公共交通活性化協議会を経て、方向性を見出すことができると考えますが、令和7年度以降、市民の皆さんの足に空白ができないように、確実に市内線運行を継続できるよう鋭意努めていきます。

第1回定例会 個人質問から

パートナーシップ制度について



高橋 江海子
れいわ新選組

問 パートナーシップ制度の理解促進に向け、サービスを提供する市職員の人権意識を同じ水準にする必要があると考える。江別市のようなガイドラインを策定する計画はあるのかを伺う。

答弁 多様性についての理解促進の取り組みとして、情報発信のほかに当事者の皆さんから直接お話を聞くことが正しい理解につながってくると考えています。ガイドライン策定に関しては提言として受け止め、今後の課題といたします。

問 行政内のハラスメントは社会から厳しい目を向けられており、職員の離職等業務の支障につながり、ひいては市民サービスが低下し、市民のみならず社会からの信用及び信頼を失う行為だと考える。時代に合わせた防止条例の策定等、積極的な取り組みについて見解を伺う。

答弁 市職員のハラスメント対策として、職場におけるハラスメントの防止に関す

る要綱を制定しているほか、外部講師による研修を全職員を対象に実施したところです。また、市民の皆さんからの度を過ぎた苦情によって職員の仕事に支障をきたすカスタマーハラスメントも最近は度々見当たるときがあり、警察への相談を含め対策を検討しています。なお、条例の制定につきましては、他自治体の動向を見ながら考えていきたいと思っておりますので、何かお考えがありましたらご提案ください。

問 子ども達のICTを通じたトラブルは多様化、深刻化しており、子ども達が今後、被害者だけでなく、加害者にならないための対策について考えを伺う。

答弁 情報モラルの教育は継続的な指導が重要であると考えています。啓発文書だけでなく来年度からは、くらし支援課や消費者センターと協働で職員による出前講座を実施する予定です。

第1回定例会 個人質問から

市政運営の基本的な考え方について



柴田 文男
21フォーラム

問 ふるさと納税基準の厳格化などにより今後の財政運営に大幅なマイナス修正が加わることは明白である。将来の厳しい財政運営が予想される中であっても、教育のまち滝川の再生を掲げて本市のリーダーとなられた以上、教育環境の整備を後回しにすることがあってはならないと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 教育環境の整備を後回しにすることは考えてはおりません。目前の課題である小中学校の空調工事は早急に実施すべく、子どもたちの安全性の確保を最優先に取り組んでいきます。議員のご指摘につきましては、新年度予算に計上する「新小学校基本構想策定事業」により、第一小学校の建て替えを軸とし、最適な学習環境づくりを進めていきます。

問 駅前の再整備は多くの市民が待ち望む一方で、資材費や労務費など建設費の上昇などの理由により、将来負

担の拡大を危惧する声もある。駅周辺の再整備をいかに進めるのか、現時点での考えを伺う。

答弁 議員ご指摘のとおり、再整備の事業費が市の財政運営の負担になることを不安視する声があることは承知していません。そうした声にしっかりと応えるため、補助金や起債など有利な財源の活用を配意し、できる限り将来負担を残さぬよう進めていきます。

問 令和6年度末で終了する市内バス路線について、どのような運行形態で存続を図られるのかを伺う。

答弁 現時点で具体的にお示しできることはありませんが、市民の皆さんの足に空白ができないように、令和7年4月以降も確実に市内線運行が継続できるよう鋭意努めていきます。

学校図書館を充実させる取り組みについて



寄谷 猛男
日本共産党

問 子どもたちに身近な学校図書館を充実させる取り組みについて伺う。

答弁 国が進める「学校図書館整備等5か年計画」では、図書の整備、新聞の配備、学校司書の配置の3点について、その充実を努めることとされています。図書の整備と新聞の配備については各学校が予算の範囲内で児童生徒の希望に応じて計画的に行い、市立図書館が「図書館学級文庫」という形で朝読書や休み時間に読む本を各学級に貸し出しています。学校司書は未配置ですが、本市では市立図書館の司書が学校図書館運営を全般にわたりサポートしているほか、PTAや地域のボランティアの方々から「図書の修繕」や「読み聞かせ」などの支援をいただいています。

問 児童館・放課後児童クラブなどの運営に民間事業者を活用する場合の児童厚生員の処遇について伺う。

答弁 児童館・放課後児童クラブなどにおいて、日々、子どもたちや保護者との信頼関係を築いてきた経験豊富な児童厚生員は、子どもたちに大きな影響を与える重要な存在です。民間事業者を活用する場合であっても基本的には児童厚生員の体制を大きく変更させる考えはありません。

問 高齢者の健康づくり・生きがいづくりにおける利用者向けの助成について伺う。

答弁 老人クラブや介護予防サロン事業の運営者、認知症カフェの開催団体などへの助成につきましては、団体に対する助成が利用者に還元される形での助成を行っています。今後どのような形の助成を行うことが高齢者の居場所づくりにつながるのかを考えていますので、ぜひともご提言をいただきたいと思っております。

一般会計など全予算を“可決”

本定例会では、第1および第2予算審査特別委員会を設置し、3月12日から14日まで各委員会を開催し、令和6年度一般会計予算ならびに特別会計4件、企業会計2件について審査を行いました。

ふるさと基金積立金

問 ふるさと基金積立金は今まで堅実に積み立ててきたと思うが、何か目的はあるのか。今後使うことになる場合、どのようなことが想定されるのかを伺う。

答 寄付者の意向に沿った事業の財源として積み立てており、毎年各事業に活用しています。今後は公共施設個別施設計画に基づく公共施設整備への充当も予定しています。財政状況を踏まえつつ、基本的には市の重要施策に有効活用していきたいと考えています。

市内路線バス

問 中型バスを2台購入するとあるが、乗客の人数やニーズに合わせた機能などの検討はどのように考えているのかを伺う。

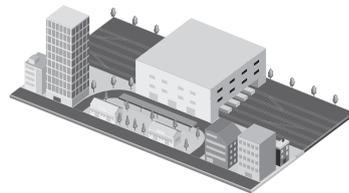
答 今回購入を予定している車両については、車椅子で乗り降りするためのスロープを脱着式でつけることが可能であったり、車椅子用のスペースとして一部座席が跳ね上げられ、車椅子を固定できるフックのようなものがついているなど、乗車人数や利用者のニーズも考慮して検討しています。



滝川駅周辺整備

問 基本計画策定の手順について伺う。

答 主に検討する内容は、大きく3点あり、機能の構成や規模、配置、動線といった整備計画に関する事、事業手法、スケジュール、概算事業費といった事業計画に関する事、施設の運用計画に関する事についてです。また、これらの事項を検討するにあたっては民間活力の導入可能性も探りながら、基本計画の策定を進めていきたいと考えています。



障害者福祉費

問 障害者福祉費が増額となっているが、障がい者自立支援を受けるニーズが増えているという認識で良いのかを伺う。

答 人口減少に伴い、障害者手帳の所持者は減少する傾向にありますが、知的障がいや発達障がい等によりサービスを必要とされる方は増加しています。障がいのある方が地域において自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、ニーズに対して支援していくため増額となっています。

民生委員

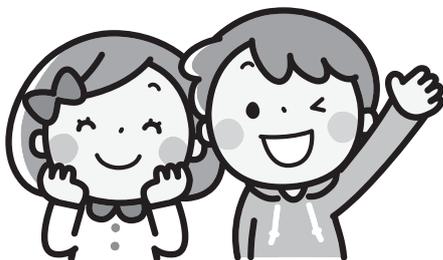
問 民生委員のなり手不足の問題に対しての対応は考えているのかを伺う。

答 令和7年度の次期改選を見据え、役員と協力体制を強化し、既存委員のより一層の定着化を図るほか、町内会等を通じた委員候補者の掘り起こしを強化するなど、従来よりも早期に着手し、なり手不足の解消に努めたいと考えています。

児童手当

問 児童手当の支給時期が年3回から年6回に変更となるが、何月に支払われるのかを伺う。

答 制度改正が令和6年10月にされ、12月から2か月ごとの支給となります。



地域子育て力強化事業

問 地域子育て力強化事業に関する具体的な内容について伺う。

答 従来から実施しているファミリーサポートセンターの事業、2人目以降のお子さん誕生時にご家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、子育てに対して不安や孤独感を抱える家族などに対し、保健師等が指導・助言を行う養育支援訪問事業といった内容になっています。

空家等実態調査

問 空家等実態調査委託料について、具体的にどのような調査を行うのかを伺う。

答 具体的な調査内容については、調査リストを施行業者と調整をして作成した後、受注者が現地を訪問し、外観目視により空き家か否かの調査をします。それに併せ、空き家と思われる建物については、不良度判断を実施し、建物の状態を評価します。

医師減少

問 令和6年4月より医師の人数が減少すると聞いているが、具体的にどこの診療科で何人減るのかを伺う。

答 内科で2名、外科で1名、初期研修医1名の計4名減となっています。医師の減により診療や入院、救急対応などに影響が出る心配がありますが、市民の皆さんには可能な限りご心配やご不便をおかけしないよう対応を検討している状況です。

成年後見制度

問 成年後見制度利用支援事業に要する経費について、ここ数年増減が見られない。制度自体の需要がないということで理解して良いのかを伺う。

答 成年後見制度利用支援事業については、滝川市社会福祉協議会に委託しており、同協議会から提出された事業実施の見積りに合わせて予算を計上しています。

需要がないという判断はしていませんが、成年後見制度の普及活動を進めていく中で、広く市民の皆さんの声を汲み取りながら、ニーズに合った活動をしていく必要があると考えています。

予算審査特別委員会 における各会派討論



◎市民ネットワーク

歳入においては、大幅な減となったふるさと納税の今後の取り組みとして、安定した返礼品の開発に力を入れていただきたい。歳出においては、市民の財産を活用する事業を進めるにあたり、将来の財政不安や十分な市民意見が反映されているとは思えないことから、今後の進め方を十分に審議されることを望む。

介護保険特別会計では、核家族の進行・増加、介護する家族の高齢化など想定を上回るスピードで情勢が変化している。今後さらに厳しさに拍車がかかることも予想されるため、事業運用に努力いただくよう望む。

◎新政会

ふるさと納税額を挽回するため、引き続き首都圏でのPR活動はもちろん、滝川関係者及び団体・企業にもこまめにPRを実施されたい。駅周辺地区再生拠点整備基本計画策定は長年の市民要望であり、様々な意見を集約し、使いやすくコンパクトな低予算の計画策定を期待している。

病院事業会計では、市民の健康維持・増進が主たる役割であり、医師をはじめとする医療スタッフの充実は必須である。医師確保に向け医科大学医局など関係機関に対する継続的な働きかけを望む。

◎公明党

長期化する物価高騰で市民の生活は、まだまだ好転する兆しが見えない中、先を見据えての滝川駅周辺の再整備に着手するための基本計画・新小学校基本構想策定のための事業費、小・中学校空調設備設置のための工事費など、これらの計画では、市民意見が十分に反映され、将来に禍根を残さない計画にしていきたい。

私たちは滝川市の将来を、深く考えていく必要があるため、計画を進めるにあたって、財源確保のための弛まぬ努力を望む。

◎れいわ新選組

ふるさと基金28億8727万1千円の見込みについて、これまで、コツコツ積み立ててきた大切な財源であると思う。予定している公共施設個別施設計画に基づく公共施設整備の財源として有効活用していくとこのことで大変頼もしく感じる。市内経済を活性化するためにタイミングを見極めつつ、多くの市民のために積極的な活用を求めたい。

地方の街を発展・存続させるために外すことができない要が子育て支援であると認識している。計画の策定と合わせ、今後の子育て政策に対する積極財政とさらなる子育て環境の充実強化を期待する。

◎21フォーラム

介護現場はもとより様々なサービスを提供しなければならない現場が崩壊しようとしている。本予算においても市内バス路線の継続維持に向けた対策が語られ、農業環境の悪化や空き家対策の推進など、立ち止まることのできない課題が指摘されている。

このような困難な状況下において、市民の命と暮らしを守るため、令和6年度予算を適切に執行し、安心のまちづくりを市民に届けられるよう、職務に精励されることを強く要望する。

◎日本共産党

市は、財政運営の基本方針で市立病院の健全経営の継続を最重要事項と位置づけたが、滝川市立病院の軸足は公立病院として住民の命を守ることにある。医師をはじめ医療スタッフの確保は容易ではないが、住民が安心して受診できる質的・量的に充実した医療体制の構築に取り組んでいただきたい。

下水道事業会計についてだが、能登半島地震から2か月が経つが未だに上下水道の復旧ができず、断水が続く地域が残されている。下水道は人の生活に欠かせないインフラの一つであるため、継続的な維持保全に努めていただきたい。

令和6年第1回定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	監査報告について	報告済
報告第2号	例月現金出納検査報告について	報告済
議案第1～7号	令和6年度滝川市各会計予算 ※議案第1号 令和6年度滝川市一般会計予算に対して提出された修正案は否決	原案可決
議案第8号	令和5年度滝川市一般会計補正予算(第11号) こども医療及びひとり親家庭の医療扶助費増額、介護給付費扶助及び訓練等給付費扶助の増額、通学用輸送便のルート変更及び随時運行便の増加に伴うスクールバス運行委託料の増額、小中学校空調設備設置等工事を行うための補正です。	原案可決
議案第9号	令和5年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第10号	令和5年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第11号	令和5年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第12号	令和5年度滝川市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第13号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第14号	職員の育児休業等に関する条例及び滝川市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部を改正する法律が施行されたことを踏まえ、新たに会計年度任用職員に対して勤勉手当を支給するための改正です。	原案可決
議案第15号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例 旅費の暫定措置を廃止するための改正です。	原案可決
議案第16号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 鳥獣被害対策実施隊の設置に伴い、当該隊員の報酬を規定するための改正です。	原案可決
議案第17号	滝川市手数料条例の一部を改正する条例 地方公共団体の手数料の標準に関する政令等の一部改正を踏まえ、新たに戸籍謄本等の広域交付等に係る手数料を定めるための改正です。	原案可決
議案第18号	滝川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令等の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第19号	滝川市三世代交流センター条例の一部を改正する条例 滝川市三世代交流センターの休館日を変更するための改正です。	原案可決
議案第20号	滝川市介護保険条例の一部を改正する条例 令和6年度から令和8年度までの介護保険料率等を定めるための改正です。	原案可決
議案第21号	滝川市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例 滝川市農村環境改善センター多目的室の使用について、暫定措置期間の満了に伴う改正です。	原案可決
議案第22号	公の施設の指定管理者の指定について(三世代交流センター) 令和6年4月1日から3年間、滝川身体障害者福祉協会を指定管理者として指定しました。	原案可決
議案第23号	教育委員会委員の任命について 上野恭敬さんが任命されました。	原案同意
議案第24号	公平委員会委員の選任について 森井智江さんが再任されました。	原案同意
議案第25号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 吉井裕視さんが再任されました。	原案同意
議案第26号	予算審査特別委員会の設置について	原案可決
議案第27号	滝川市税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第28号	損害賠償額の決定について 交通事故に伴う損害賠償額の決定	原案可決
意見書案第1号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める要望意見書	原案可決
要望書案第1号	北海道滝川工業高等学校に新しい学科の設置を求める要望書	原案可決

令和6年第1回臨時会議決結果

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	専決処分について(損害賠償額の決定) 車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定	報告済
議案第1号	令和5年度滝川市一般会計補正予算(第10号) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受けて行う住民税均等割のみ課税世帯電力等価格高騰臨時支援金の給付及び住民税非課税世帯等臨時支援金(こども加算)の給付などを行うための補正です。	原案可決

滝川市議会 NEWS FLASH

令和6年能登半島地震の被災地に 支援金を寄付！

1月12日(金)、滝川市議会議員会は、元旦に発生した能登半島地震の1日も早い復旧・復興を支援するため、市などで行く「滝川市令和6年能登半島地震災害復旧・復興応援会議」に10万円を寄付しました。



▲左から山本議長、田村議員会長、前田市長

滝川工業高校に新しい学科の設置 を求める要望書を北海道に提出!!

3月29日(金)、滝川工業高校に半導体製造の知識と技術を習得できる学科の設置を求め、山本議長と安樂総務文教常任委員長は道教委を訪問し、倉本教育長に要望書を手交しました。時代のニーズに応じた学科を新たに編成することで、高校の魅力化と地域経済の発展を進めたいとするものです。



▲左から安樂総務文教常任委員長、山本議長、倉本教育長

気軽に！手軽に！ネット中継!!

滝川市議会では、より多くの市民の皆さんに本会議を見ていただけるよう、YouTube（ユーチューブ）によるライブ配信を行っています。
なお、過去の配信映像も同チャンネル内でご覧いただけます。



たきかわ市議会
ホームページQR

傍聴してみませんか

令和6年第2回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 本会議	15
16	17	18	19	20 本会議 一般質問	21 本会議 一般質問	22
23	24	25	26	27	28	29

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

まだ風の冷たさが残るものの、雪が解け新緑の季節がいよいよやってきました。お出かけが楽しくなる時期ですが、交通事故にはくれぐれも気を付けたいところですね。私も3月末に子どもを連れて、ほほえみ工房さんの地域食堂にお邪魔しました。利用者さんや支援者さんの笑顔、子ども達の声で活気が溢れ、まさに春を感じたところです。

さて、早いもので私達新任議員も職務に就いてから今月で1年が経ちました。1年前は右も左もわからない状態でしたが、先輩方の丁寧なご指導に加え、市民の皆様からの激励など、大変恵まれた1年であったと振り返っています。加えて今回の第1回定例会では、予算修正案が提出され、討論や採決を行うという経験ができました。大変勉強になりました。

私達はこれからも皆様のご意見やご要望に真摯に対応してまいりますので、ぜひ直接、市役所11階の傍聴席でご覧になっていただけると幸いです。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員 高橋江海子

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信